

令和元年度 第1回 光風荘運営推進会議 議事録

- 《日 時》 令和元年5月17日(水) 午後6時より
- 《場 所》 高齢者グループホーム光風荘 3階「えんがわ」
- 《出席者》 委 員：家族会会長、地域包括支援センター職員、有識者…計4名
市 職 員 等：高齢者支援課職員、在宅介護支援センター職員…計2名
運 営 側：事務局長、施設長、介護職員…計4名

- 《議 題》 1. 報告事項
- (1) 入居者、職員の異動について
 - (2) 前回会議以降の活動状況について
2. 行政からの情報提供
3. その他

■挨拶

本日はお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。令和第1回目の運営推進会議です。今年は10連休と言うこともあり、体調を崩している方も多いと聞いています。本日は、忌憚のないご意見をよろしくお願いします。

■会議概要

※ 文中の「委員」は運営推進委員、「運営」は運営側、「市等」は市職員等、「GH」はグループホーム、「特養」は特別養護老人ホームの略。

1. 報告事項

(1) 入居者、職員の異動について

- ・入居者の異動はありません。
- ・職員の異動は、
 - 2階20代女性介護職員 産休に入っていたが4月30日付けで退職。
 - 1階20代男性介護職員 3月31日付で退職。
 - 1階50代女性介護職員(派遣) 3月31日契約終了のため退職。
 - 1階50代女性介護職員(派遣) 3月26日より勤務開始。

(2) 前回会議以降の活動状況について

日時	行事名	参加人数	内容
3月28日	2階花見	入居者9名 職員7名	関前公園で花見を行った。昼食にいなりずしや海苔巻きやから揚げを食べた。
3月30日	1階花見	入居者9名 職員7名	関前公園で花見を行った。天気が曇りであったが、皆さん厚着をした。いなりずしや海苔巻きを食べた。
4月7日	音楽とおしゃべり		元入居者の家族による歌とおしゃべりの会を行った。

	の会		リクエストした曲を電子ピアノで弾いて、歌を歌った。
4月27日	歌の会		入居者家族による歌の会を行った。入居者のご家族が選曲して、ギターを弾いていただいた。そのギターに合わせて歌を楽しんだ。
5月10日	1階母の日	女性入居者 7名 職員5名	女性入居者が関前公園近くの喫茶店に行って、ランチを楽しんだ。その後、男性入居者が女性入居者にカーネーションをプレゼントした。
5月12日	2階母の日		2階母の日。注文した持ち帰り寿司を昼食で食べた。午後は、延命寺に外出したり、職員が手作りしたカーネーションを女性入居者にプレゼントした。
5月11日 5月12日	延命寺縁日		入居者が交代で縁日に外出した。

【質疑応答・意見交換】

「運営」：非常勤職員2名と派遣職員1名退職したとあるが、逆に入職した職員はいるのか。

「運営」：入職した職員が1名であるが、派遣職員である。

「運営」：気候がよくなってきたので、集団なり、個別の外出は行われているのか？

「運営」：天候がよければ、1フロアで毎日1名から2名で外出を行っている。ただし、華道や健康体操といった室内レクリエーションが重なると室内のレクリエーションを優先している。

「運営」：お買い物や散歩で出かける場所は、どこか。

「運営」：散歩は関前公園や武蔵野中央公園に出かけることが多い。買い物は、マツモトキヨシやサミットやいなげやに出かけることが多い。

(3) 平成31年度事業計画と予算について

別紙を参照

【質疑応答・意見交換】

「運営」：非常用の備蓄品とは、具体的にどんなものを準備しているのか。

「運営」：水やお湯だけで食べれるご飯を中心に準備をしている。

「運営」：備蓄品は、何日分準備しているのか。

「運営」：3日分を準備している。

「運営」：市内の他のグループホームとの交流はあるのか。

「運営」：以前は、流しソーメンに招待いただいたことがあるが、それ以上の交流はない。

「委員」：終末期介護の契約をしている方はいるのか。

「運営」：光風荘の職員体制を考慮すると契約には至っていない。武蔵野市役所から指導を受けたこともあるので書類を整備したい。

「委員」：小森病院との連携が大事になってくると思う。

「運営」：過去に2名の入居者の看取りをした経験がある。しかし、現実にはいろいろな条件があると思う。

「委員」：今年も杏林大学の学生を受け入れるのか。

「運営」：今年も受け入れる予定である。杏林大学の学生には、小森病院から来る訪問看護師や訪問診療の様子などを学んでいる。

2. 行政からの情報提供

「委員」：今年で5回目のケアリンピックを11月23日に開催する。ご協力をお願いします。

その他

- ・今年度第三者評価を受審する年なので準備を進めている。6月に家族や職員によるアンケート評価と7月に場面観察と書類の確認を行う予定である。
- ・6月22日に屋内の排水口掃除を行う予定。
- ・次回は、7月17日に行う予定。

令和元年度 第2回 光風荘運営推進会議 議事録

《日 時》 令和元年7月17日(水) 午後6時より
《場 所》 高齢者グループホーム光風荘 3階「えんがわ」
《出席者》 委 員：家族会会長、地域包括支援センター職員、有識者…計4名
市 職 員 等：高齢者支援課職員、在宅介護支援センター職員…計2名
運 営 側：事務局長、とらいふ業務執行理事、光風荘施設長、介護職員…計7名

- 《議 題》 1. 報告事項
- (1) 入居者、職員の異動について
 - (2) 前回会議以降の活動状況について
 - (3) 平成30年度の事業報告・決算について
 - (4) 身体拘束委員会よりの報告について
2. 行政からの情報提供
3. その他

■挨拶

本日は、お忙しい中お集まり頂きありがとうございます。梅雨があけて体調を崩しやすいのでご留意ください。光風荘第2回運営推進会議ということで、いつもながら皆様の忌憚のないご意見をお聞かせください。よろしくお願いいたします。

■会議概要

※ 文中の「委員」は運営推進委員、「運営」は運営側、「市等」は市職員等、「GH」はグループホーム、「特養」は特別養護老人ホームの略。

1. 報告事項

(1) 入居者、職員の異動について

- ・入居者の異動はありません。待機者11名
- ・職員の異動
6月29日 1階50代女性介護職員(派遣)退職。
7月13日 2階20代男性介護職員(派遣)夜勤のみ 8月まで。
7月15日 1階50代女性介護職員入職 週5回勤務。

(2) 前回会議以降の活動状況について

日時	行事名	参加人数	内容
5月25日	第五小学校運動会	入居者 12名 職員 5名	交代で参加。みなさん子供たちの頑張りに感動される。小学校側も席を確保して下さったため、とても助かった。
5月30日	エアコン交換		フロアのエアコン交換を行った。工事中は3階で過

			ごし、外出（散歩）などして過ごした。
6月6日	父の日		1階 バラを贈呈し記念撮影。おやつに市販のケーキを頂いた。 2階 昼食にうなぎを食べ、午後ジェスチャーゲーム、父になって30年を迎える職員に向けて職員から言葉を送った。おやつは手作りバナナケーキを頂いた。
6月29日	家族会	家族 8名 職員 2名	事業計画、予算、事業報告、決算を報告した。
6月29日	音楽会	入居者 18名	入居者ご家族による音楽活動。ギターを弾いてくださり、それに合わせて歌とおしゃべりを楽しむ。
7月1日	第三者評価場面観察	機関職員 2名	第三者評価機関の職員2名が場面観察を行う。 22日に書類の確認・ヒアリングを行う。
7月7日	七夕		7月1日に近所から竹を分けていただき、思い思いの願い事を書いた。 1階 魚釣りゲームをし、夕食にうなぎを頂いた。 2階 パン食い競争のレクリエーションをし、夕食にうなぎを頂いた。
7月11日	換気扇交換		1階の換気扇を交換した。
7月16日	民生委員見学	委員 18名	民生委員の方々が2班に別れて見学に来られた。

【質疑応答・意見交換】

「委員」：職員の退職で、派遣の方の退職は急なのか？事前に連絡があったのか？

「運営」：以前から対人トラブルがあり、本来ならば派遣会社を通して1ヶ月更新で話し合いをすることであるが、話し合いの結果、今回は急にやめることになった。

「運営」：8月にとらいふ武蔵野よりベテラン職員が光風荘に異動し補充を考えている。

派遣の方の問題は、本来派遣会社の責任で対応する性質のものではあるが、あちらも人材不足で変わりの人を紹介できない状況のようです。

「特養」：以前の会議で出た話で、1対1の同行費について家族会では意見はでたのか？

「運営」：特に意見は出ていない。入居者のご家族から同行費を徴収する場合は、ご家族からの希望で同行してほしい場合のみ徴収。それ以外は徴収しないことになったことを報告した。

「委員」：派遣の方は全体的に少ないのか？

「運営」：職員補充のため派遣をお願いしたが、出勤当日来ず。派遣会社も人を補充できない状態であった。

(3) 平成30年度の事業報告・決算について

別紙を参照

活動報告書を参照

「運営」：華道ボランティアは先生が体調不良にてスタッフが対応しており、ボランティアさんを探し中である。

「運営」：派遣職員の支出が増えており、直接雇用で安定した職員の確保が至上命題となっている。今後も法人の協力を頂き、職員の確保をすすめていきたい。

【質疑応答・意見交換】

「委員」：法人全体の派遣職員の採用の割合はどうか？

「運営」：退職者が出た場合、補充したくても人が集まらない状況である。

法人全体では特養で1名、光風荘で1名となっている。割格的には低い。

「委員」：ハローワークには求人を出しているのか？

「運営」：出している。その他に求人ポスターを作成し、近隣店にもお願いし貼らせて頂いている。

(4) 身体拘束委員会よりの報告について

「運営」：5月29日に身体拘束研修を行った。参加職員6名。

テーマは身体拘束に付随した「スピーチロック」について話し合った。

「ちょっと待って」は、言いたくないが、難しい現実もある。ただし、必ず応える姿勢で職務にあたる大切さを話しあった。その他、危険な行為だから止める。

たとえば、2階の入居者が3階に階段で上がってしまうことを止めてしまうケアをすると別な弊害を生むことになること、どのようなケアが望ましいのか意見が出た。

今回は、9月に研修、10月に委員会を行う予定。今後も、身体拘束の委員会や研修を通じて、ケアの質の向上に努めていく。

「研修に参加した職員の意見」

ちょっとまってという言葉であらためて考えてみて、日々口にしてしまっていることがある。危険が生じる場合や、職員の人手が少ない場合など、同時に数名が動き出した際などにちょっとまってと言っている。また、座ってという言葉も同様に使っている。何気ない時の言葉も身体拘束に繋がるということを確認した。意識して良いケアにつなげていこうと思う。

【質疑応答・意見交換】

「委員」：人がいない中でも研修をすることは大事、研修を受ける方の均一は必要である。大変ながらも計画的な研修が必要であると思う。

「運営」：平等に研修を受け、得た知識を他職員に共有をする。報告書にして他職員と共有するシステムが出来ればと思う。

「市等」：病院では規模が大きいため研修、講義を録画し参加出来ななかった職員にはDVD視聴をもらって情報共有している。

2. 行政からの情報提供

ケアリンピックについて

1 1月23日 今回は食をテーマとしたケアリンピック武蔵野を実施する。

2階 専門職を中心に地域包括ケアについて講演

各事業所に事例発表の協力を依頼している。

1 1階レインボーサロンでは介護食を提供し、市民の方にも食べていただき、紹介する場を設ける。摂食嚥下、口腔ケアなどの講座も開催する予定。

ご協力、ご参加をお願い致します。

【質疑応答・意見交換】

「委員」：人が来てもらえるような取り組み、現状はどうか？

「市等」：ケアリンピックを通してとなると限られた人になってしまう。事例発表の際に杏林大学教授、武蔵野大学、成蹊大学の学生さんも一緒にボランティアという形で協力してもらい、若い世代にも介護を知ってもらっている。そこから就職に繋がっているかどうかは、事業所に確認しても、問い合わせは少ないというのが現状である。

地域包括ということで、地域全体を活性化させていき、今ある事業所を継続させていくことが大きな課題である。

「委員」：武蔵野市の中にはこれだけ働く場所があるということを知ってもらうためにしていることはあるのか？

「市等」：事業所リストは配布している。事業所ごとに仕事内容を紹介するブースをひらいた。

訪問入浴などは、実際大きなお風呂桶を用意し、こんな感じで入浴するというデモンストラーションを行い盛り上がりはあった。人材確保とは別の話ではあるが、まずはケアリンピックに多くの方が参加してもらうことに意味があると思い、継続していこうと思う。

事例発表を通して、市民の方にも知ってもらい反響も頂いている。

その他

・次回は、9月18日（水）に行う予定。

令和元年度 第3回 光風荘運営推進会議 議事録

《日 時》 令和元年9月18日(水)午後6時より
《場 所》 高齢者グループホーム光風荘 3階「えんがわ」
《出席者》 委 員：家族会会長、地域包括支援センター職員、有識者…計4名
市 職 員 等：高齢者支援課職員、在宅介護支援センター職員…計2名
運 営 側：理事長、とらいふ業務執行理事、光風荘施設長、介護職員…計7名

- 《議 題》 1. 報告事項
- (1) 入居者、職員の異動について
 - (2) 前回会議以降の活動状況について
 - (3) 第三者評価の結果報告について
2. 行政からの情報提供
3. その他

■挨拶

本日は、お忙しい中お集まり頂きありがとうございます。お彼岸前に関わらず、天気が変わりやすく体調を崩しやすいのでご注意ください。光風荘第3回運営推進会議ということで、いつもながら皆様の忌憚のないご意見をお聞かせください。よろしくお願いいたします。

■会議概要

※ 文中の「委員」は運営推進委員、「運営」は運営側、「市等」は市職員等、「GH」はグループホーム、「特養」は特別養護老人ホームの略。

1. 報告事項

(1) 入居者、職員の異動について

- ・入居者の異動はありません。待機者10名
- ・職員の異動 8月1日 特別養護老人ホームとらいふ武蔵野より2階常勤職員が異動
8月11日 1階常勤職員入職。
7月26日から8月29日 2階夜勤専門派遣職員

(2) 前回会議以降の活動状況について

日時	行事名	参加人数	内容
7月28日	ご家族による音楽活動	入居者 18名	入居者ご家族が弾いてくださるギターに合わせて歌を楽しんだ。
8月 3日・4日	延命寺縁日	入居者18 名	入居者が交代で盆踊りやバザーを楽しんだ。

8月4日	ブルーベリー狩り	入居者3名 職員2名	関前公園近くのブルーベリー園でブルーベリー狩りを楽しんだ。
8月24日	関前南小花火大会	入居者18名	光風荘の屋上から関前南小学校の花火を鑑賞した。花火を楽しんでいる方がいる一方で、花火の音に驚かれる方もいた。
8月25日	夕涼み会	入居者 18名	昼食に流しソーメンを楽しんだ。数人はソーメンをすくって食べる事ができた。一方で、流れるソーメンを見ながら、職員がソーメンをすくって食べている方がほとんどであった。
9月7日	身体拘束廃止委員会	職員5名	入居者のケアで難しい方の意見交換を行った。また、ご家族から頂いた意見について意見交換を行った。

【質疑応答・意見交換】

「委員」：ブルーベリー狩りは、初めての行事ですか。

「運営」：毎年、行っている。暑さが気になるので、朝9時ごろにお連れして、30分程度で光風荘に戻られた。

「委員」：夕涼み会の流しソーメンで使った竹は近所からいただいたのか。

「運営」：本物の竹ではないが、プラスチックではあるが本物に近いものを使っている。

「運営」：以前はベランダを使って流しソーメンを行っていたことがある。現在は、暑さがあるので室内で行っている。

「委員」：暑さ対策をしながら、楽しめる活動があると良いと思う。

「委員」：台風の影響はあったのか。

「運営」：建物に関しては、1階の一人の入居者の居室のスプリンクラー付近から雨漏りがあった。それ以外に、電車を使って出勤する職員が出勤できないことを前日にきちんと把握してなかった。現場の職員が光風荘近くに住んでいる職員に出勤を要請して対応した。施設長である私が事態の深刻さを理解していなかったことを反省している。

「運営」：以前から光風荘の西側の畑から雨風が吹き込んだことがあった。そのほか、緊急時の職員の出勤体制については反省点があったと思う。

「委員」：台風は予告があり、前もって対応ができたと思う。次に活かしてほしい。

(3) 第三者評価の結果報告について
別紙を参照

【質疑応答・意見交換】

「委員」：第三者評価を受けて印象に残ることは何か。

「運営」：職員不足をどう改善するかと感じました。付き合いのあるお店にポスターを貼らせてもらって職員を募集しても反応がない。第三者評価機関からいただいたアドバイスとして夜勤専門の職員を募集することを勧められた。また、近くにある保育園と交流が持てれば、職員の採用や子どもと高齢者の交流に結びつくかもしれないと助言を受けた。

その他、実地指導でも指摘されたがケアプランの整備を進めるためにも、職員の確保に重点を置きたいと思う。

「市職員等」：評価が高かったことは何か。

「運営」：第三者評価の委員からも言われたが、入居者のケアや職員同士の連携については評価いただけたと思う。

「運営」：私達の活動は結局人になると思う。職員同士が連携してよりよいサービスが提供できるかが大事になってくると思う。もっとよりよい形で進めていきたい。

2. 行政からの情報提供

ケアリンピックについて

11月23日 今回は食をテーマとしたケアリンピック武蔵野を実施する。ご協力をお願いします。

7月26日 認知症サポーター養成講座のステップアップ講座で光風荘を見学していただいた。その後、振り返りを行った。初めて見学して職員が入居者への声のかけ方とか勉強になった。来年もご協力をお願いします。

その他

- ・次回は、11月18日（水）に行う予定。

令和元年度 第4回 光風荘運営推進会議 議事録

- 《日 時》 令和元年 11月 20日 (水) 午後6時より
- 《場 所》 高齢者グループホーム光風荘 3階「えんがわ」
- 《出席者》 委 員：家族会会長、有識者…計3名
市 職 員 等：高齢者支援課職員、在宅介護支援センター職員…計2名
運 営 側：理事長、施設長、常務理事、介護職員…計4名

- 《議 題》 1. 報告事項
- (1) 入居者、職員の異動について
 - (2) 前回会議以降の活動状況について
 - (3) その他の報告について
2. 行政等からの情報提供
3. その他

■挨拶

お忙しい中、また大変寒い中、集まり頂きましてありがとうございます。風が強くなると真冬のような寒さとなり、体調管理に気を付けなければと思っております。年内最後の運営推進会議という事で、状況のご説明をした上で、色々ご意見を頂戴出来ればと思っておりますので、よろしく願いいたします。

■会議概要

※ 文中の「委員」は運営推進委員、「運営」は運営側、「市等」は市職員等、「GH」はグループホーム、「特養」は特別養護老人ホームの略。

1. 報告事項

(1) 入居者、職員の異動について

- ・入居者の異動は無し。待機者は11名となっている。
- ・職員の異動
 - 9月30日 2階常勤職員 特別養護老人ホームとらいふ武蔵野へ異動
 - 10月1日 大脇常務理事 光風荘へ着任
 - 10月1日 女性非常勤介護職員 2階へ入職
 - 11月10日 1階女性常勤職員 一身上の都合で退職
 - 11月17日 夜勤専門派遣職員 2階へ入職

(2) 前回会議以降の活動状況について

日時	行事名	参加人数	内容
9月28日	敬老会	全員 ご家族3名	二胡の演奏会、ゲーム、民謡に合わせた体操を開催。
9月30日	杏林大学看護学科		

～3日間	学生の実習		
日時	行事名	参加人数	内容
10月28日 ～3日間	杏林大学看護学科 学生の実習		
11月3日	とらいふ武蔵野 和太鼓演奏会	入居者3名 職員4名	武蔵野大学和太鼓グループ「隼」による和太鼓演奏を鑑賞。
11月9日、 10日	関前コミセン祭り	各日入居者4名 職員4名	おやつでたい焼き等を買って召し上がった。子どもが多く、雰囲気を楽しんでいた。
11月20日	屋上菜園の芋掘り	入居者5名	光風荘の屋上にて、入居者と職員で植えたさつまいもを収穫した。

【質疑応答・意見交換】

「委員」：常勤職員の退職が続いているが、定着しにくい状況にあるのか。

「運営」：常勤業務の負担が大きかったようである。その負担に対してのサポートが不十分であったかもしれない。光風荘における常勤職員の業務は、フロア内での介護業務だけでは無く、ご家族や外部との連絡調整等、多岐に渡り、それらが負担となっていた様である。

「委員」：日常的なケアについて、というよりは、外部との繋がり等への適応が難しかったのか。

「運営」：GHの場合、特養とは違い、常勤職員の人数が非常勤職員と比べて大幅に少ない。また、例え入職して間もない常勤職員であったとしても、業務を任させる事も多い。その為、常勤職員に掛かる負担が大きくなる。それらに対しての調整がうまく進まなかった。現在、常勤1名が施設長補佐という役職に就き、1階・2階共ご家族との連絡調整を行う事となった。今後も常勤職員の募集を行っていくが、業務の組み立てについては再度検討する必要があると考えている。

「委員」：退職された方は、どれぐらい在職されていたのか。

「運営」：9ヶ月程である。

「運営」：GHの環境が合う入居者・合わない入居者がいらっしゃる様に、職員にもGHが合う・合わないといった部分がある。特養の様に規模の大きい施設であれば、大勢いる職員が、各自自分の担当する業務を行っていくというパターンが多いが、GHの場合、少人数で行う分、各職員がオールラウンドに対応しなければならない。その点を理解した上で業務に就いて頂かないと、長続きしないのかもしれない。

「委員」：今回の事を機に、業務分担について見直しが行われた分、介護に携わるウエイトが増えた分、やりがいを感じて頂ける環境に変わるのではないかと期待したい。

「運営」：GHには看護師がおらず、本来看護師が行う薬の仕分け等も介護士が行わなければならない。その為、特養と比較してオールラウンドに対応出来なければならないという違いを強く感じる。

「委員」：家庭的な雰囲気ではあるのだと思うが。

「運営」：GHの場合、日中は先ほど報告した様に芋掘りをしたり、お祭りや買い物に出掛けたりと、入居者の方に寄り添う時間を多く作っている。特養に於いてもその時間を取りたいと思いつつ取れておらず、課題となっている。その分、GHでは雑用的な業務を行う時間が取れない。残った仕事は夜勤が行う、という事になる。その様な点でも特養とは大きく違うと感じる。

「委員」：よく耳にするが、介護現場での経験があり、比較対象があると、より自分の理想に近い職場を

求めて転職する、という方もいらっしゃる様。自分にあった所に定着出来るのは良い事であり、とらいふに於いては特養もある為、異動により定着するチャンスもあると思う。

(3) その他の報告について

- ・11月23日、ケアリンピックに参加する予定であったが、職員の退職が続き、参加出来なくなってしまった。申し訳なく思っている。
- ・11月12日、台風が上陸し、前回の反省から、遠方から出勤する職員の代わりに、近隣の職員が出勤する様、事前に調整を行った。また、退勤時には常務理事が車での送迎を行ったり、前回雨水が入ってきた居室前に土嚢を積んだり、対応を行った。特に被害等も無かった。
- ・職員の退職により、シフト作成に支障が出ており、常勤職員も現場に入る事が多く、事務的な業務に時間を割く事が出来ていない。派遣職員と契約し、常勤職員の事務的業務の時間を作ったり、職員の体調不良等に対応したり出来る様にしたい。
- ・10月21日、入居者の方のインフルエンザ予防接種を実施した。また、感染症予防の為、ソリューションウォーターの噴霧を開始している他、手洗い・うがいを励行している。

【質疑応答・意見交換】

「運営」：今現在、体調を崩している入居者はいらっしゃるのか。

「運営」：現在ははいない。

「運営」：特養では今月になり、5名の利用者の方が入院する事となった。気候の変わり目等、些細な事で体調を崩しやすく、気を付けても難しい部分もあるかもしれないが、重々注意して頂きたい。

「委員」：感染症予防の為、湿度管理は行っているのか。

「運営」：各フロアに湿度計・加湿器を設置しているが、フロアの広さに対しては不十分かもしれない。

「委員」：対応を行っていても、湿度が不十分であれば感染症が流行する可能性も上がる。湿度計が用意されているのであれば、適時確認し、加湿が不十分であれば、対策した方が良いかもしれない。

「委員」：予防接種は入居者の方全員が受けたのか。

「運営」：全員が受けた。

「委員」：接種に抵抗感のある方はいらっしゃるなかったか。

「運営」：今回、スムーズに進んだ。

2. 行政等からの情報提供

- ・ケアリンピックが2日後に迫っている。多くの皆様にご協力いただき、感謝している。2040年に向けての武蔵野市の介護について、講演を企画している。今後も規模は変えつつもケアリンピックを続けていき、このような講演を企画していく予定である。今年ご出席出来ない方も、来年ご出席頂ければと思う。
- ・当法人の利用者の方でも、インフルエンザ感染の報告が少しずつ挙がってきている。急な気温の変化により、体調を崩す職員もいる。利用者の方の健康はもちろんの事、職員の健康も大事にしていかなければならないと感じている。

3. その他

- ・次回の運営推進会議は、1月15日（水）に開催の予定である。

令和元年度 第5回 光風荘運営推進会議 議事録

- 《日 時》 令和2年1月15日（水）午後6時より
《場 所》 高齢者グループホーム光風荘 3階「えんがわ」
《出席者》 委 員：地域包括支援センター職員、有識者…計2名
市 職 員 等：高齢者支援課職員、在宅介護支援センター職員…計2名
運 営 側：理事長、施設長、常務理事、介護職員…計4名

- 《議 題》 1. 報告事項
(1) 入居者、職員の異動について
(2) 前回会議以降の活動状況について
2. 行政等からの情報提供
3. その他

■挨拶

令和もあっという間に2年を迎えました。光風荘は引き続き皆様方の各種ご意見等を頂戴しながら、より良い形で活動を続けていければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

■会議概要

※ 文中の「委員」は運営推進委員、「運営」は運営側、「市等」は市職員等、「GH」はグループホーム、「特養」は特別養護老人ホームの略。

1. 報告事項

(1) 入居者、職員の異動について

- 入居者の異動はなし。待機者は現在9名となっている。
・年末年始の入居者の健康状態は概ね良好。しかし、一昨日頃より1階にて熱発している方がいらっしゃる。受診済みで、インフルエンザは陰性であった。
- 職員の異動
- ・12月16日 女性非常勤職員 2階へ入職
 - ・12月17日 2階女性非常勤職員 退職
 - ・12月21日 女性非常勤職員 1階へ入職
 - ・12月31日 1階女性非常勤職員 退職
 - ・1月1日 女性事務職員 とらいふ武蔵野へ異動となったが、光風荘にも週1回出勤する。

(2) 前回会議以降の活動状況について

日時	行事名	参加人数	内容
12月8日	1階クリスマス会	1階全員	昼食に特別メニューを用意。午後には皆でゲームを行い、おやつにはケーキを用意した。

12月14日	2階クリスマス会	2階全員	歌の会・パフェ作りを行った。また、ご本人のイメージに合った“文字”の習字をプレゼントした。
12月25日	音楽会	両フロア全員	入居者のご家族によるギター演奏に合わせて、季節の歌を歌った。
12月31日	大晦日	全員	夕食に年越しそばを用意。
1月1日	お正月		延命寺へ初詣に出掛けた。 昼食にお節とお雑煮を用意。お餅はご本人の状態に合わせて、形態を変えて用意した。
1月2日			初釜を行った。本来は書初めを行う予定であったが、職員数が少なく、実施できなかった。
1月10日	関前南小どんど焼き	入居者3名 職員3名	餅つきの様子を、階段を上る事が出来る方の中で、出来ない方は外から見学。お餅を頂き、おやつでお出しした。

2. 行政等からの情報提供

- ・11月23日にケアリンピックが開催された。本年度で5回目となるが、今回は704名にご参加頂いた。5回目にして初めて雨天での開催となったが、大盛況であった。午前は講演会を開催。スイングホールに立ち見が出る程であった。演題発表や、食をテーマにしたブース展示を実施し、こちらも好評であった。今年度は永年勤続表彰を行わなかったが、来年度は実施する予定である。ご無理の無い範囲で、ご協力頂ければと思う。

3. その他

- ・2月～4月の間に、光風荘の外壁塗装を実施する予定。よくベランダに出て過ごすご入居者がいらっしゃる為、実施期間中のご入居者の安全確保が課題となる。

【質疑応答・意見交換】

「市等」：外壁塗装の作業期間はどれぐらいか。

「運営」：2ヵ月程掛かるのではと予想される。

「市等」：足場を組んで行うのか。

「運営」：組んで行う。

「委員」：塗装のみか。

「運営」：塗装と一部補修を行う。ベランダの防水工事までは、予算の関係上行わない事となった。

「運営」：全額大家さん負担となるのか。

「運営」：そのようになる。

「委員」：現状、雨漏りは起きていないのか。

「運営」：過去、階段の天井から雨漏りが起きていたが、修理を行っている。

「市等」：入職する職員は、介護分野の経験者が多いのか。

「運営」：今回ご報告した2名は、経験者である。身体機能の低下しているご入居者も多く、経験者であっても、体を壊さず長く仕事を続けて頂ける様、他の職員とサポートしていく。

「市等」：高齢の方であっても、長く働ける環境作りは必要だと思う。介護業界全般で人材確保に苦勞しており、在宅のヘルパー等では非常に高齢な方もいらっしゃる。ケアリンピックも、人材確保が一つの目的となっている。先程、別施設での運営推進会議にも参加して来たが、ケアリンピックにて発表を行った結果、利用希望の問い合わせが増えたとの報告があった。武蔵野市全体を、皆で盛り上げていければと思う。

「運営」：武蔵野市は GH が 2 つしかなく、GH に特化した情報がなかなか入ってこない。特養は 7 カ所あり、施設長会も行っている為、情報共有を図りやすい。本日ハローワークに行ってきたが、そちらでも GH に特化した情報は持ち合わせていないとの事だった。私も特養から光風荘に来たが、同じ 24 時間の介護でも、調理や散歩等によりご入居者に寄り添う時間は GH の方が圧倒的に多い。そのような特色を伝えていければ、入職希望者は増えて行くのではないかなと思う。その為のツアー型面接会等を実施出来ないかハローワークに提案した所、理解を得られたと思う。

「市等」：特養での勤務経験しかない方であれば、GH の事を知る事で魅力を感じるかもしれない。

「運営」：寄り添うケアを目指したい方にとっては、楽しさを感じる事が出来ると思う。実際に GH で働くまで、ご入居者へ包丁での調理をお願いする事に不安を感じていたが、実際に働いてみると、職員よりもよほど上手に扱えるという事もある。

「市等」：そのような事を一緒に行う事に魅力を感じる方もいると思う。

「運営」：人員的には厳しい状況ではあるものの、現在働いている職員達を大切にしたい。

「運営」：特養では数年で退職する職員が多いが、光風荘では 10 年以上働いている職員が何人もいる。そういった点では、他の施設とは違った魅力があるのだと思う。

「委員」：徐々に認知症は進行していくものだと思うが、その事により職員の負担も増えていくものと思うが、その点についてはどのように考えているか。

「運営」：心身機能の低下により、介助量が増えてきた方に関しては、ご家族との相談の上で、とらいふ武蔵野等、特養への申し込みをお願いしている。ただし、光風荘で対応出来る内は頑張りたいという職員の意識もある。ご本人の状態・ご家族の了承・職員の気持ちの整理等が噛み合った時が、特養入居のタイミングだと考えている。

「運営」：特養に移るタイミングだと思える状態のご入居者に対して、移るべきだと即決せず、今後どのように進行していくのかを自分なりに勉強したり、記録をより綿密に残してカンファレンスを行ったりして、対応法を考える事で自分達も成長していこうという意識の職員も多い。仮に特養から声が掛かっても、職員の意見を聞いてから決めるという体制になっている事に驚いた。

「運営」：優劣とは別の話だが、特養と比較して GH はアットホームな雰囲気が強い。徐々に身体機能・認知機能共低下していく事で、職員の負担も大きくなっては行くが、事務的に“次の施設に”とはならない。家族的な観点でご入居者と接している、という色彩が強い。そのようなケアをしたいと考えている人がいれば、ぜひ情報を流して来ていただきたいと思う。

「委員」：認知症と言っても、全てが障害される訳では無く、ある一部分に症状が見られ、ある一部分は保たれているという点が認知症の特徴だと思う。出来る限り家族的な雰囲気を続けて頂きたいと思う。

「運営」：身体的な介護は実際に増えてきているが、それらに対して特養の職員に講師として来てもらい、勉強会を行ってはどうかという声も挙がっている。

- ・ 次回の運営推進会議は、3月18日（水）に開催の予定である。